



イノシシやシカを群れごと一網打尽にできる囲い罠「おりべえ」を開発

開発の背景・ニーズ

近年、イノシシ・シカによる農作物被害が激増し、その対策として罠による捕獲が進んでいます。しかし、獲り逃がすことによって罠を学習した警戒心の強い個体が生き残り、捕獲が大変難しくなっています。そこで、警戒心の強いイノシシやシカを群れごと捕獲し、安全・簡単に駆除できる罠の開発に取り組みました。

成果の内容

農作物被害をもたらす獣類(イノシシ・シカ)を群れごと簡単に捕獲でき、安全に駆除できる「愛知式全方位開放型檻付き囲い罠」(商品名:おりべえ)を民間企業と共同で開発しました。

この罠は、警戒心の強い獣類も群れごと容易に内部へ誘導でき、効率よく捕獲できます。また、捕獲した獣類は、下りた扉により外部を見通せなくなるため、脱出を試みて暴れることが少なく、獣体を傷つけません。捕獲後は簡単に備え付けの檻に移動させることができ、経験が少ない人でも安全かつ円滑に駆除できます。



赤外線カメラ



パソコンで映像を見ながら捕獲



捕獲時



駆除用の檻は3頭まで収容可能



おりべえの外観 捕獲前



捕獲したイノシシの群れ

愛知県農業への貢献

農作物被害の軽減に役立つとともに、捕獲した獣類の肉を良質な地域資源として有効利用することにも期待できます。

【アイフスチール(株)、(株)ネットワークSAKURAとの共同研究で実施した成果です】

企画普及部